

## 梅窓院通信

## 青山



住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成



令和二年のお正月、皆様はどのようにお迎えでしょうか。今年二度目の東京オリンピックの年となりますが、開会式会場は梅窓院から歩いていける距離、海外からの旅行者が増えている昨今、青山もぎつと賑わうことでしょう。梅窓院ではオリンピック、パラリンピック中は、道路や地下鉄の混雑が予想されることから、安全を考慮して法事をお受けしないことに致しました。恐縮ですが、期間中に法事を予定されている方は少々前倒しでお申し込みいただけるよう、お願い申し上げます。

さて、京都の大本山清浄華院は、かつて私が唱導師を務めたことがあります。そのご法主であられました。大僧正台下が遷化され、昨年十一月十八日に本葬が執り行われました。九十七歳の世壽でありました。

台下には私はもちろん、先代、先々代もお世話になっていきます。また、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、『浄土』を発行している法然上人讃仰会を通して大変お世話になってきました。

台下との思い出は数々ありますが、パリにある浄土宗の開教地へご一緒させていただいたのが一番の思い出です。パリにある学校に本尊を運び入れ、フランス人と一緒にお念仏を称えたのは懐かしい思い出です。台下の講演も硬すぎず、柔らかすぎず、いいお話でした。本当に親しみやすいお人柄の台下、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

最後に墓地整備の現状をお知らせします。リアフリー化は済みましたが、舗装道路をさらに歩きやすくするために緑色のクッションを全道路に敷く工事を昨年からは始めています。お墓参りをしやすい環境作りを大切にしていきます。

また、檀信徒の皆様とお寺を結ぶ小冊子、『檀信徒読本』を同送しますのでお役立て下さい。

雪に飾られた最勝宝塔。

一年の計と人生の設計

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

とわざという、「一年の計は元旦にあり」「一年の計は正月にあり」と。物事は最初の計画が肝心であり、何事もまずもって初めにしっかりとした計画を立てなければならぬという意味である。

このことわざはまた「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」と広く言い習わされて、計という字は「けい」あるいは「はかりごと」と読み習わし、謀(はかりごと)という文字を使うこともある。出典は明馮応京撰『月令広義』に記されている。「一日の計は晨(あさ)に在り、一年の計は春に在り、一生の計は勤に在り、一家の計は身に在り」と四計を掲げている。

まず一日の計は朝・晨・旦、あるいは寅(寅の刻、午前三時から五時の明け方)にあるという。次に「一年の計は春にある」——これは、新春初春ということである。一方、「一年の計は穀を植うるにあり」なども称されるように、春の農耕の始めの時を表すこともある。また一生の計は勤めということは、文字通り、働き勤める、勤勉に精進することである。そして、一家の計は我が身、この身体(からだ)の双肩・責任にかかっているのである。

元にもどって「一年の計は元旦にあり」——この教え論しも、実は「一年は

一年の工夫あり」ということで、一年一年に思い考えをよくめづらして確実に着実に歩み行くことであると、ことわざは重ねて教え伝えている。

さて今年一年、今年こそ、今年だけは、今年かぎり……、新しい一年への思い、願いは人それぞれにさまざまであるが、ともかく一年の計画をしっかりと立てて準備することが肝要である。何事も初めが大事大切であり、最初の一歩も確かな企画計画のもとに歩み出すことができるれば盤石である。もとより手順や方法を尽くした見積もりや目論見が、かならずしもその通りに進んだり、行なわれたりするとはかぎらないわけ、時として無意味な、無駄な慮り(おもんばか)にかかずらって出発してしまうこともある。ことわざには、「朝に夕べを謀(はか)らず」「朝に夕べを慮(おもんばか)らず」に先のことを考えないとも、釘を打っている。

いずれにしてもこの新しい一年、自分自身にとってはもちろん、家族親族、知人友人をはじめ、まわりの人々にとつても大切きわまりない一年三百六十五日である。まさしくこの一年の設計は、大きく人生一生の設計にもつながるのである。

私はすでに高齢者として老境に身を置いて、自分の人生図・人生帖も大分量が増えて、回顧してみれば自戒と反省のことがあまりにも多いのであるが、いささか少なくなってきた明日の未来・将来へ向けて、もう一歩、もうひと踏んばりの歩みを、今ここに新たに決意するのである。

そうした新年初春の決意を確かめるための秀句を眺めてみると、次の二句が今の私の心に落ち着いたのである。

何事もなくて春たつあしたかな (土朗) 元日のすわる処に坐りけり (桂)

寛政の三大家と称された井上士朗は加藤晧台の門下。二木桂という人は寡聞にして知らないが、この句の句境に深く同感する私である。

ここに改めて元旦元朝の仏教句を掲げ、私自身だけでなく多くの人々の今年一年の無事平安の人生を祈り願いたい。

元朝に十念仏のゆききかな (一茶) 歳旦や三宝に帰依し奉る (綾華)

小林一茶は言うまでもないが、佐々木綾華は、大谷句仏の指導を受けた真宗大谷派の人である。

(大正大学名誉教授)

九・十・十一月の行事報告

秋彼岸会法要

彼岸寄席 9月23日(月)



秋彼岸寄席、三遊亭歌の多師匠

秋彼岸特別展 9月21日(土)~23日(月・祝)



梅窓院の所蔵品の展示と、漆器や仏具等の展示即売会を行った。

第78回念仏と法話の会 10月15日(火)

文化講演会 10月26日(土)



日本料理の神倉昌孝氏による講演と実演。

十夜法要・芋煮会 11月16日(土)



十夜ライブ出演の三浦明利さんも一緒に。

梅\*華 コンサート 11月24日(日)



華やかなコンサートに!!



# 修正会

しゅししょうえ

## 2020年1月1日(水)

### 修正会法要

午前9時30分～ 2階 本堂

### お雑煮

午前11時～ 1階 観音堂エントランス

#### 修正会とは

お正月、お寺で行う行事を修正会(しゅししょうえ)といいます。

年末の除夜の鐘で煩惱を消し去り、新たな気持ちで新しい一年の幸せや健康、そして平和や五穀豊穡を願う行事です。梅窓院では修正会を元旦に行っています。ぜひ、ご家族皆様でご参詣下さい。

※お雑煮の振る舞いは元旦のみになります。修正会に参列いただいた方から優先的にお雑煮の振る舞いをさせていただきます。なお、数に限りがございますので予めご了承下さい。



#### 絵馬について

新年のお参りに来ていただいた方にお配りしている絵馬は、元旦のみ1軒に1体のお渡しとさせていただきます。2体以上ご希望の方は事前に文書(FAXかハガキ)でお申し付け下さい。2体目から1体千円でお譲り致します。



#### 心の暦について

各檀家さまに1部同封させていただきました。2部以上ご希望の方はこちらも文書(FAXかハガキ)にてお申込み下さい。2部目から1部千円でお譲り致します。

元号が令和に改まって初めて迎える新年でございます。皆様は変わりなくお過ごしでしょうか。  
私事で恐縮でございますが、先日浄土宗の東京地区の青年会若手の僧侶の会で台湾へ旅行して参りました。旅のテーマは現地の寺院を巡って見識を広めるということでした。  
台北の龍山寺では本尊の観世音菩薩に加えて、儒教や道教の神様も合せてお祀りされておりました。ご参詣の方々が真剣な面持ちで神仏に額づいているのを拝見して、襟を正される思いでした。  
台湾の参拝者方は五体投地礼(両手両膝と額を地につける礼拝)をされている方も多く専用の座具が支度されています。また道教寺院の松山慈祐宮には午後八時を過ぎて参詣致しましたが、夜遅くにも関わらず沢山の一般の方がお経を読んでいらつしやいました。  
ところで、街中の所々に南無阿弥陀仏の看板やお札があるではありませんか！  
異国に来て同胞を見つけたような不思議な嬉しさのまま、写真に収めました。  
台湾では仏教、道教、儒教が混ざりつつも、生活に根差した独特の信仰を観ることができました。  
さて、熱心な台湾の在家信者様方を目の当たりにして、私も志を新たにする旅となりました。新年を迎え、当院では元旦に修正会法要があり、次の一年の泰安と皆様方各々の生活が健やかなることを祈願致します。どうぞ、皆様方もご参拝の際にはご一緒に、阿弥陀様の御前で気持ちを新たに、お念仏をお称えいただければと思います。  
(法務部 中島真紹)



台湾の南無阿弥陀仏

#### 修正会によせて



皆さんがお寺にお見えになった時、最初にそしていつも訪れていただいているのが受付です。地元青山の名物にもなっている梅窓院の竹の参道正面に見える建物が受付です。今回はその受付に関わる情報をお知らせ致します。



# 受付 各種問い合わせの 窓口になります

## からのお知らせ!



受付時間と  
駐車場の  
利用時間

午前8時 ~ 午後8時15分

都合により早く閉めることがありますので、ご注意ください。

★午後8時15分以降は車の出入はできませんのでお気をつけ下さい。

年末年始も時間が変わることがございますのでご了承下さい。

### 各種ご案内

- 法要のお申し込みや相談
- 行事参加のお申し込みやご案内
- 窓口として担当部署にお取次ぎ致します。

### 救急対応員のご案内

梅窓院の受付職員の中に、赤十字の救急法救急員、サービス介助士がおります。  
また、車椅子のご用意もありますのでお声掛け下さい。



### 休憩所について

山門横の休憩専用の小部屋です。  
お墓参りの際にご利用下さい。



なお、ご利用いただける時間は受付同様、  
午前8時～午後8時15分になっています。

## 販売品と貸出品について

受付にはお墓参りに必要な品々、またお墓参りに便利な貸出品もご用意しています。

### お墓参り用

#### お線香

1束100円



#### 貸出品 お線香運び器



お線香を安全に運ぶためにご用意しました。

#### 貸出品 ライター



風にも強いお線香火付け専用ライターです。

#### 貸出品 花ばさみ



供花の丈詰めにご利用下さい。

#### 供花

お花は専用冷蔵庫で保存、いつでも新鮮なお花をどうぞ。



### 仏具

#### お線香

仏壇用の香り豊かなお線香もご用意しています。



#### 数珠・念珠袋

男女それぞれの数珠と数種類の念珠袋からお選び下さい。



#### 仏像

浄土宗のご本尊、阿弥陀如来の立像。



#### 本水晶 腕輪念珠

泰平観世音が彫られている念珠です。5,000円



#### 位牌

位牌は大小のほか、繰り出し位牌(右端)も用意しています。



### お守り



#### 梅窓院御守

厄除開運、福智円満の輪島塗のお守りで、旧日本堂内陣の檜柱を木地に使用しています。5,000円

### 御朱印



#### 朱印

観音堂の泰平観世音の朱印となります。

300円

※朱印受付時間は9時～16時30分です。



#### 朱印帳

お好きな柄をお選びいただけます。1,980円

### お土産



#### 梅窓院煎餅

栄草庵(梅窓院檀家)のおせんべいです。

1,200円

◆本日はよろしくお願ひ致します。

よろしくお願ひ致します。

◆お茶の教室を梅窓院で開かれて何年になられますか。

早いもので、もう40年ですね。昭和53年からですか。

◆先代の中島真哉上人の頃ですね。

はい、当時真哉上人の奥様とお茶の関係の行事で知り合ひまして、そのご縁からですが、本当に長くお世話になってます。

◆奥様もお茶を教えられていたかと思いますが。

はい、ですので、奥様と私の教室の日程を調整したり、生徒さんの行き来がないように、といったことには十分気をつけて参りました。

◆なるほど。その頃の茶室はどこにあったのでしょうか。

弧月庵こげつあんという名前の茶室でしたが、最初はかつての講堂の脇のほうで、その後少し前に移って、墓地入り口の右手のいい場所にありました。

◆講堂とは大正時代に建てられた、青山のシンボルとなっていた建物ですね。

はい、そうです。その後、この新しい本堂に生まれ変わったからは地下に茶室を移していただき、教室が続いています。

◆お茶はいろいろな流派があると聞きますが。

私のところは裏千家です。

◆一番広がっている流派ですね。

そうですね。

◆現在のお弟子さんは何人ぐらいですか。

今は20人ぐらいです。私は最初、麻布の方で教室を開いていたのですが、その頃は生徒さんは自分よりご年配の方ばかりで、私が一番若かったものです。それが今は80歳を超え、今では子供や孫のような生徒さんが多くなりました(笑)。

◆茶道を嗜む人は増えていますか、減っていますか。

昔はお茶とお花が習い事と二本柱でしたが、今は習い事がたくさんありますので、茶道人口は減っています。これは時代の流れでしょう。

◆そうですか、でも茶道ならではの魅力は変わらないと思いますが。

そうです。茶道は形から入りますが、物を大事に扱うこと、相手の事を大切にすることが自然と身に付きます。私は基本を大事にして丁寧に教えることを心がけています。

◆梅窓院のお彼岸に呈茶をしていただいていますか。

はい、春と秋のお彼岸にお墓参りに来た方などで無料でお茶を点てています。施茶せぢといって差し上げるお茶です。

◆多くの方が楽しんでいらっしゃいますね。

そうですね、大体、400杯ほど点てています。



梅窓院本堂地下にある鹿島茶道教室の茶室にて 先生と中島住職。

◆400杯は大変ですね。

大変でない、とは言いません(笑)。ですが、普段なかなかお茶を飲む機会はなくなってきていますから、お茶に触れ、かつ楽しんでいただければ満足です。

◆最後に茶道の魅力をお聞かせ下さい。

茶道は生活文化を取り入れながら、振る舞いや心構えを大切にできるようになり、色々な知恵や知識も身につきます。便利簡単時代の反対にあるからこそ、魅力的だと思います。

◆なるほど、ありがとうございました。

梅窓院の鹿島茶道教室への問い合わせは、03-3408-0115へ。



令和元年秋彼岸、観音堂での呈茶の一コマ。



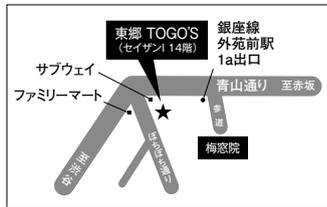
穏やかな笑顔が印象的な 先生。  
鹿島茶道教室には梅窓院の職員の生徒さんも在籍している。

東郷 TOGO'S

今回は梅窓院の敷地内に建つ「セイザン」の14階に9月に移転オープンした和食料理「東郷TOGO'S」をご紹介します。

オーナーシェフの東郷健一郎さんは、世界に和食料理を広めたお店、「NOBU」の松久信幸氏の直弟子。今も世界を席巻している創作和食の流れを組んでいる東郷さんのモットーは、季節に合わせた料理、お客の好みに合わせた料理です。

店内はお洒落な雰囲気ながら、親しみやすいメニューはお手頃価格。料理はコースからアラカルトまで、ドリンクも日本酒・ワインなど各種取り揃えて



営業時間／  
 昼11:30~15:00 [L.O. 14:00]  
 夜18:00~23:00 [L.O. 21:30]  
 定休日／月曜日  
 席数／カウンター…8席  
 ダイニングテーブル…22席  
 テラス…20席  
 住所／東京都港区南青山2-26-32  
 セイザン14階  
 TEL／03-6812-9250



店内は、開放的な心地よい空間。また、広々としたテラス席もあります。



肉御膳 2,200円  
 お肉は厚みがあり、口に含むとトマト・玉ねぎの風味が広がりとても柔らかな食感です。



天ざる蕎麦 2,200円  
 天ぷらは、彩り豊かで蕎麦に腰があり薬味を足すことで、新たな美味しさが広がります。

あります。

マンション内にあるので、隠れ家的なお店ですが、予約なしでも来店でき、カウンター席で1人でゆっくりランチもできます。個室は人数によって対応可能な可動式の為、2人からでも利用できます。天気には左右されるものの、屋上の広々としたテラス席も魅力的。ぜひ、法要後やお墓参りの際に足を運んでみて下さい。なお、ご来店の際は入り口インナーホンで「1401 呼び出し」をお押し下さい。

青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○浜に干す漁網の匂ひ秋高し

◎入選

○並木道の紅葉の下を通りけり

○吹かれあるコスモス眺め母徳ぶ

○酒の肴は塩焼きの子持鮎

○頭垂れ穫り入れを待つ稲穂かな

○台風におびえる我が子抱きしめて

○供花を手に山裾をゆく秋彼岸

○磴行けば十六羅漢初紅葉

○塀越しに青き楳摺の七つ八つ

○空暗く老歌手のフアド身に入みて

○林間の小道にぼつと曼珠沙華

◎選者詠

○椿の実いろづき海に風吹いて

大崎 紀夫

〈ランポイントアドバース〉

地球温暖化による自然界の乱れはかなり顕著になってきていますが、俳句は(四季の移ろいとそれに伴う人事を詠む詩)といわれ、常に自然と共にあるものだ、とわたしは思っています。今回は「冬の季語」で、冬という季節の中に身を置いた心、思いをゆつたり詠んでみるのもいいでしょう。

投句募集

今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月3日(金)を締切、令和2年3月発送の『春彼岸号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38  
 梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウェブ編集室  
 電話03-5368-1870

第七十七回  
 食は命  
 武鈴子 食養研究家

「上手なおソバの食べ方」

信州のお寺のお坊さんにきいた話です。おソバの最初の食べ方は、お椀にお味噌とすりおろした辛味大根を入れ、ソバ湯でのばし、それにゆでたてのソバをつけて食べたのが始まりだという。だから昔から信州の農家ではソバ畑の畔に辛味大根を植えていたといわれています。しかし『飲食事典』によると、日本におけるソバの発祥は近江の伊吹山下と伝えられ、それが気候風土の関係から信濃に移って普及したという。ソバつゆの薬味としての辛味大根も、もとは伊吹山下に発したと記載されています。また、年越しにソバを食べるのは、旧年の体のサビを取り除き、五臓の滞りを除く意味だとか。

辛味大根は、近年見かけるようになりましたが、その名の通りすりおろして食べると、とてつもなく辛い。唐辛子をはじめ、ねぎ、生姜、カラシなどの辛味のもの、体を温める性質。ソバの薬味にねぎ、生姜などが用いられるのは、ソバは反対に体を冷やす性質だからです。うどん屋さん、そば屋さんのテーブルにはかならず七味唐辛子が置かれていますので、たっぷりのねぎ、生姜とともにソバつゆに振りかけていただきます。料理に添えられている薬味は、主になる食べ物のバランスをとるためです。

薬膳では、辛味の食べ物は、体を温めて、肺(呼吸器)と大腸の働きを助けます。お刺身にワサビや生姜、肉料理にコショウやカラシを用いるのもそれぞれの効能を高めるためです。“サビ抜き”のお寿司、カラシなしのトンカツは、お腹の調子を崩します。大腸ガンが増えています。偏った食べ方はくれぐれもご注意を!

## ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

2019年秋の台風などの災害で悲しいニュースをたくさん目に致しました。梅窓院内の墓地も何件か被害にあってしまいました。「台風前に何か対応することではないの？」とお問合せいただいておりますが、それぞれのお墓で気になることや心配事をお教えいただければ、目地へのコーキング対応などができるかもしれません。

私事で恐縮ですが実家の墓所が心配でお参りに行ったところまさかの断水でした。(千葉の田舎の方です。)お墓参りで水が無いほど虚しいものはありません。とりえず草むしりはしたのですが手を洗う水はないし花立に入れる水もない・持っていたペットボトルの水を少々入れてお花は何とかお供えしましたがお参りしたという満足感ゼロでした。普通の生活はありがたいものだと思えた日でした。

今年も色々あるかと思いますがよろしくお付き合いください。

(墓苑部・森 他一同より)

### お檀家さんに伺いました

令和元年秋彼岸法要にて

#### 「安らぎの時間」

二月に夫が亡くなり、秋彼岸会には今回初めて参加しました。

特別展では、普段見られないような仏具やお道具を広い空間でゆっくり見ることができて良かったです。娘が香道をしており、お香なども興味深く拝見しました。

また、ご住職がバリアフリー化に力を入れて下さっているおかげで、車椅子でもお墓の目の前まで行けるのが有難いです。

受付の職員さんもとても親切で、親族が墓参りに来た際に地図を用意してお墓の場所を案内して下さい、とても喜ばれました。

### 年末年始 銀座線運休の お知らせ



銀座線渋谷駅移設に伴う線路切替・ホーム移設工事のため、**銀座線 渋谷～表参道駅間、青山一丁目～溜池山王駅間が運休**になります。  
**期間** 2019年12月28日(土)～2020年1月2日(木)6日間終日運休  
 ※2020年1月3日(金)から銀座線渋谷駅新ホーム供用開始  
 詳しくは東京メトロ(0120-104106)へ。



## 2020年 年間行事予定

※予定は変更になる場合も  
ございます。ご了承下さい。

◆修正会	1月1日(水)
◆第79回 念仏と法話の会	2月27日(木)
◆春彼岸会法要・寄席・物産展	3月20日(金)
◆はなまつり	4月4日(土)～8日(水)
◆大施餓鬼会法要	5月16日(土)
◆開山忌法要・能楽奉納	6月13日(土)
◆第80回 念仏と法話の会	6月16日(火)
◆盂蘭盆会法要	7月13日(月)
◆秋彼岸会法要・寄席	9月22日(火)
◆文化講演会	10月開催予定
◆十夜法要・芋煮会	11月21日(土)
◆音楽コンサート	11月開催予定



### 行事予定

#### 第79回 念仏と法話の会

2月27日(木)

時間 11時30分～(受付11時より開始)

お齋/別時念仏会/法話/茶話会

法話 仏様の教えて

心の免疫力アップを!!

講師 長野 正念寺住職

奥寺浩司上人

発行 梅窓院  
 発行日 令和2年1月1日  
 発行人 中島 真成  
 編集 青山文化村  
 住所 〒107-0062  
 東京都港区南青山2-26-38  
 電話 03-3404-8447  
 FAX 03-3404-8107  
 ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>  
 E-Mail [jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)  
 題字 中村康隆元浄土門主  
 総本山知恩院第八十六世門跡

### 令和元年度 後期 仏教講座のご案内

受講無料・場所/梅窓院祖師堂

#### 講座 午後5時～7時(受付は午後4時から)

講題/般若経の私解私釈——「大乘仏教を理解する」シリーズ(5)

講師/勝崎 裕彦 先生(大正大学名誉教授、香蓮寺住職)

- 第2回… 1月16日(木) 小品系般若経第三章品一—教説構造の解析—
- 第3回… 2月20日(木) 小品系般若経第三章品三—善男子・善女人の信仰形態—



講題/法然上人のみ教え—『選択集』を読む—

講師/林田 康順 先生(大正大学教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺住職)

- 第2回… 1月15日(水) 『選択集』第13章 最高の善根—念仏多善根の文—
- 第3回… 2月25日(火) 『選択集』第14章 諸仏の証明—浄土往生の確信—



#### 講座 午後6時～8時(受付は午後5時から)

講題/続・アジャセの物語

講師/阿川 正真 先生(浄土寺住職、大正大学講師)

- 第2回… 1月31日(金) 『涅槃経』のアジャセ②
- 第3回… 3月12日(木) 『涅槃経』のアジャセ③



講題/墓の系譜と家族のゆくえ

講師/本林 靖久 先生(大谷大学、佛教大学講師、浄土真宗妙成寺住職)

- 第2回… 2月 7日(金) 納骨信仰の経緯～納骨堂の成立と家制度のゆらぎ～
- 第3回… 3月 6日(金) 墓と樹木～墓上植樹、樹木葬にみる弔いの意味～



各講座第3回目の最終講座は、後半、茶話会となります。講師の先生方や受講生同士、この機会に交流を深めて下さい。